



てき丸君News 第70号

発行：公益社団法人全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811

FAX 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

令和元年度全国正会員会長・理事長会議を福島で開催

令和元年度全国正会員会長・理事長会議を、2月21日に福島市のホテル福島グリーンパレスで開催しました。

会議では、永井会長の開会挨拶後、議事に移りました。議事は、①役員等の改選スケジュールについて、②令和2年度連合会事業計画骨子について、③税制改正要望について、④人材育成事業の取組状況について、⑤働き方改革関連法の実務点検について、等の各議題の概要を事務局が説明し、意見交換を行いました。

その後、環境省廃棄物規制課の成田課長に「産業廃棄物処理行政の現状と今後の方向性について」と題して講演いただきました。翌日の22日には、東京電力福島第一原子力発電所の特別視察を行いました。



(総務部・古川)

全国産業資源循環連合会政治連盟第18回代議員会を開催

全国産業資源循環連合会政治連盟は、第18回代議員会を2月21日に福島市のホテル福島グリーンパレスで開催しました。

最初に、國中理事長が挨拶し、「今年は廃掃法ができて、50年の節目の年であり、振興法案大綱の法案化の実現につなげていきたいと思う。これらについては、本年度の事業計画の中で税制改正要望とともに、連合会と連携を密にし、議連の先生方のご支援をいただきながら取り組んでいきたいと考えている。そのためには、現在26地区に地方政治連盟の拠点がありますが、さらにその他の地区で一つでも多く、作っていただきご支援を賜りたい」と述べました。

続いて永井連合会会長より、「連合会が取り組む産廃業界の課題解決や事業の実現化は、議員連盟の国会議員の先生方のご支援をいただきながら、取り組んでいくことが必要である。そのためには政治連盟の活動が重要であり、皆様の更なるご支援をお願いしたい」と挨拶しました。

議事は、以下のとおりです。

第1号議案 2019年活動報告(案)、2019年収支決算報告(案)及び2019年監査報告

第2号議案 代議員及び理事・監事の選出

第3号議案 2020年活動計画(案)及び2020年収支予算(案)

審議の結果、提案議題は原案のとおり承認されました。なお、理事・監事承認後、臨時理事会において、理事長：國中賢吉、副理事長：藏本忠男及び高橋俊美、会計責任者：森谷賢、監事：城田裕司及び小林増雄の各氏が選定されました。

また、参考資料として、①2019年寄付者芳名録、②全国産業資源循環連合会政治連盟の重要事項、③政治日程、④令和2年度税制改正要望結果報告、⑤産業資源循環議員連盟PT報告書フォローアップ状況、⑥てき丸君News、⑦産業資源循環議員連盟役員名簿、⑧広島県資源循環協会政治連盟講演会資料の各資料を提出しました。⑧の資料については、広島県資源循環協会政治連盟川本理事長より活動資金確保の一例が紹介されました。

最後に、森谷会計責任者から、2020年には衆議院の解散が予測される状況であり、衆議院選挙の対応を考えると、現状の財政状況では対応が厳しい状況である。できれば、今年の前半にご支援をお願いしたい旨の意見が出されました。

(政治連盟事務局長・土井)

連合会便り

●法制度対策委員会●

令和元年度第1回法制度対策委員会を2月5日に開催しました。

議題は、①廃棄物処理法の見直しに関する要望事項の進捗状況について、②優良認定制度の見直しについて、③関係法制度の動向について、④産業・資源循環議員連盟PT報告書及び環境省等への提言に関する進捗状況等について、⑤優良認定制度の見直しに係る省令改正事項のうち第三者機関に関する（公財）産業廃棄物処理事業振興財団との意見交換、の5項目でした。

これらの議題のうち⑤は、産業廃棄物処理事業振興財団より岩田専務理事、改田企画部長、森川企画部主任に出席いただき、10月1日から同財団が担う予定の優良認定基準の一審査に係る第三者機関の業務（優良認定基準の一部の審査代行と適合証明の発行）の概要の説明と意見交換を行いました。（総務部・古川）

●低炭素社会実行計画目標等検討会●

令和元年度第1回低炭素社会実行計画目標等検討会を2月7日に開催しました。

検討会では、今年度の温室効果ガス排出量等実態調査結果の概要や外国政府による廃棄物の輸入規制等に係る影響について、意見交換を行いました。

このほか、毎年度開催される低炭素社会実行計画フォローアップ専門委員会への対応や2020年度目標及び2030年度目標の達成に向けての意見交換も行いました。（事業部・横山）

●安全衛生委員会●

令和元年度第3回安全衛生委員会を2月20日に開催しました。

主な議題は「産業廃棄物処理業における第2次労災害防止計画（案）」、「令和2年度の安全衛生事業方針（案）」でした。

令和2年度から3カ年を計画期間とする「産業廃棄物処理業における第2次労働災害防止計画」を進めることが承認され、その計画目標達成に向けて各協会の取り組みを支援するための「令和2年度安全衛生事業方針（案）」の実施内容について協議しました。（調査部・戒能）

●INDUST 3月号特集「石綿、フロン新規制への対応」●

建築物などの解体工事等における石綿の排出などの抑制を図るために環境省は3月上旬に大気汚染防止法の改正案を今国会に提出します。改正案では解体工事に係る調査方法を定め、工事受注者に同調査の記録の作成・保存、さらに、調査結果を都道府県知事に報告することを義務付ける方針です。

同省の調査によれば、特定建築材等以外の石綿含有建材は、現在でも作業現場周辺で飛散が確認されているほか、同省が示したマニュアルで飛散防止策が十分講じられていない事例があり、さらなる対策が必要です。また、発注者責任の明確化を図る必要性も出てきています。

一方、地球温暖化防止のために進められているフロン排出防止策は、4月1日に施行される改正フロン排出抑制法によって、機器廃棄時に使用者がロン回収を行わない違反に対して直接罰の導入がされるなど、廃棄物処理事業者の対応も変化していきます。

3月号では産廃処理事業者にも関係深い石綿、フロン排出抑制に向けた新たな規制について解説します。（事業部・東方）

- 主な行事予定 - （3月17日～4月27日）

【3月】

17日 建設汚泥再生品等利用促進検討会

【4月】

3日 処分場早期安定化分科会

6日 収集運搬部会運営委員会

8日 信越北陸地域協議会

13日 建設廃棄物部会運営委員会

15日 産業廃棄物処理実務者研修会講師打合せ

17日 関東地域協議会

20日 マニフェスト推進委員会

21日 表彰選考委員会

27日 法制度対策委員会